

令和7年度 秋学期
授業評価アンケート結果

令和8年3月2日
滋賀文教短期大学

1. 目次

ページ	内容	
1	1. 目次	
1	2. 授業アンケートについて	
2	3. 授業アンケート質問項目	
3	4. 授業アンケート集計結果	(1) 全学
4		(2) 国文学科全体
5		(3) 国文学科1年生
6		(4) 国文学科2年生
7		(5) 子ども学科全体
8		(6) 子ども学科1年生
9		(7) 子ども学科2年生
10	5. 全学的考察	(1) 授業アンケート結果について
11		(2) 授業の質向上のために
12	6. 国文学科全体の考察	(1) 授業アンケート結果について
13		(2) 授業の質向上のために
13	7. 子ども学科全体の考察	(1) 授業アンケート結果について
15		(2) 授業の質向上のために
15	8. 授業アンケート回答率の推移	

2. 授業アンケートについて

■概要

本学では、実習科目を除く全科目の14回目または15回目で約10分程度の時間を設け、授業アンケートを実施している。学生は、学生ポータルサイトからアンケートに無記名式で回答する。

■実施期間

学年暦において14回目または15回目の授業内で実施する。

全学年全学科共、令和7年12月15日～令和8年1月8日に実施した。

■授業アンケートの活用

授業アンケートの集計結果（学務課教務担当による集計）、科目レベルの学修成果の査定結果（授業アンケートによる学生の達成実感度と科目GPAによる査定）の主に2点をふまえて、授業検討票に省察を記録する。

本学の科目レベルの査定においては、学生の達成実感度60%以上かつ、科目GPAが2.00から3.00までのときを、望ましい水準とアセスメント・プランに定めている。

これらをふまえて、科目担当教員は授業に関してどのような工夫をすれば学生がより学修成果を獲得できるかを検討し、次年度に向けたシラバス改善案を記録する。

さらに、全科目の授業アンケート結果や授業検討票をもとに、各学科の総評を学科長が、全学的総評をFD委員長が行う。このような取り組みにより、科目レベルだけでなく組織的に授業のさらなる質向上に努めている。

授業アンケートの結果は、概要を本学ホームページで過去3年間分、学生ポータルサイトで自由記述欄以外の数値を公開している。また、授業検討票は閉架式にて学務課教務にて保管し、閲覧希望者に開示している。

3. 授業アンケート質問項目

選択式の質問1～8は回答必須とし、自由記述欄である質問9については任意による回答とした。
質問と回答の選択肢を下記に引用する。

1. あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。【単一選択式】

シラバス記載の到達目標のうち、関連するディプロマポリシーにおいてカリキュラムマップ上で二重丸がついているものが科目担当教員から学生に1つだけ提示されます。

- ①達成できた ②おおむね達成できた ③達成できなかった

2. 授業内容は興味・関心が持てましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

3. 授業内容をよく理解できましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

4. この授業はシラバスに沿った内容でしたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

5. 学生の理解を促す工夫がなされていきましたか。【単一選択式】

(言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク)

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

6. 工夫してほしいと感じたことを選んでください。【複数選択式】

- ①私語への対応 ②聞き取りやすい話し方 ③教科書・配布資料の活用
④分かりやすいパワーポイントや板書 ⑤特になし

7. 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

8. あなたは、この授業の予修・復修など自主学修に1週間あたりどのくらいかけましたか。【単一選択式】

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

- ①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満
④30分以上1時間未満 ⑤30分未満

9. あなたがこの授業を受ける中で感じた良かった点や改善してほしい点があれば、記述してください。

(特に記述することが無い場合は空欄のままです)

自由記述欄

4 - (1). 授業アンケート集計結果 (全学)

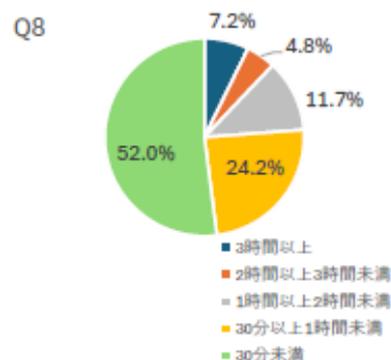
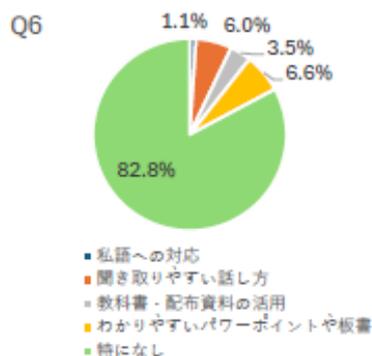
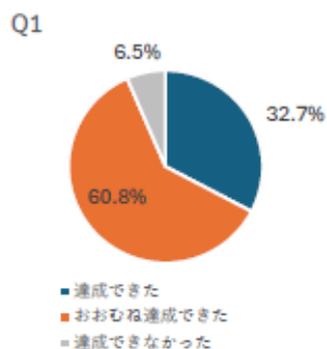
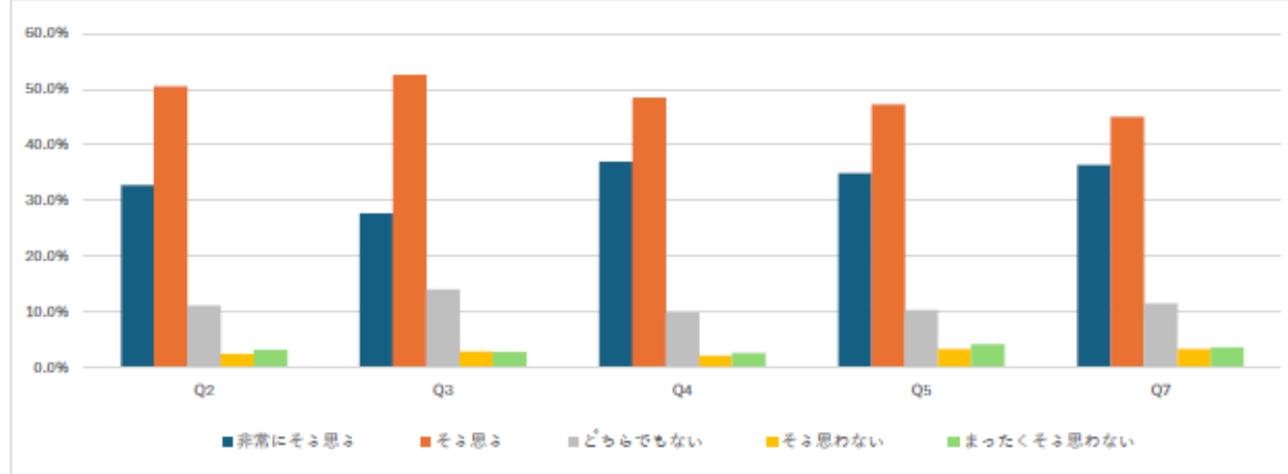
●全体 集計

受講人数	回収数	回収率
1026	954	93.0%

* 延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	312	580	62	-	-	954
Q2	313	482	106	23	30	954
Q3	264	501	134	28	27	954
Q4	353	462	94	20	25	954
Q5	333	451	98	32	40	954
Q6	11	61	36	67	844	1019
Q7	347	430	110	32	35	954
Q8	69	46	112	231	496	954

	1	2	3	4	5	計
Q1	32.7%	60.8%	6.5%	-	-	100.0%
Q2	32.8%	50.5%	11.1%	2.4%	3.1%	100.0%
Q3	27.7%	52.5%	14.0%	2.9%	2.8%	100.0%
Q4	37.0%	48.4%	9.9%	2.1%	2.6%	100.0%
Q5	34.9%	47.3%	10.3%	3.4%	4.2%	100.0%
Q6	1.1%	6.0%	3.5%	6.6%	82.8%	100.0%
Q7	36.4%	45.1%	11.5%	3.4%	3.7%	100.0%
Q8	7.2%	4.8%	11.7%	24.2%	52.0%	100.0%



4 - (2). 授業アンケート集計結果 (国文学科全体)

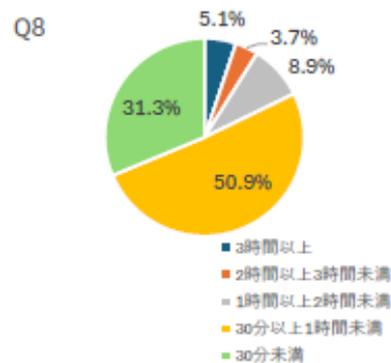
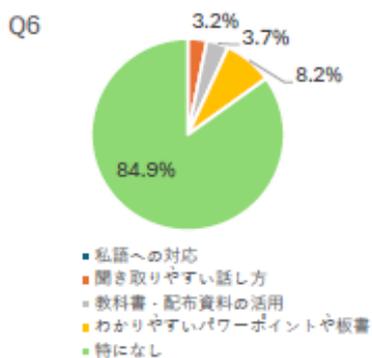
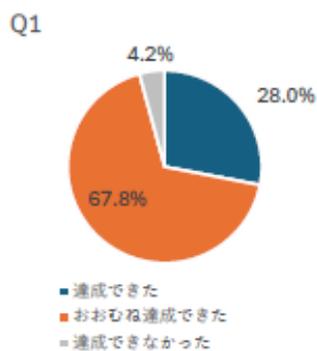
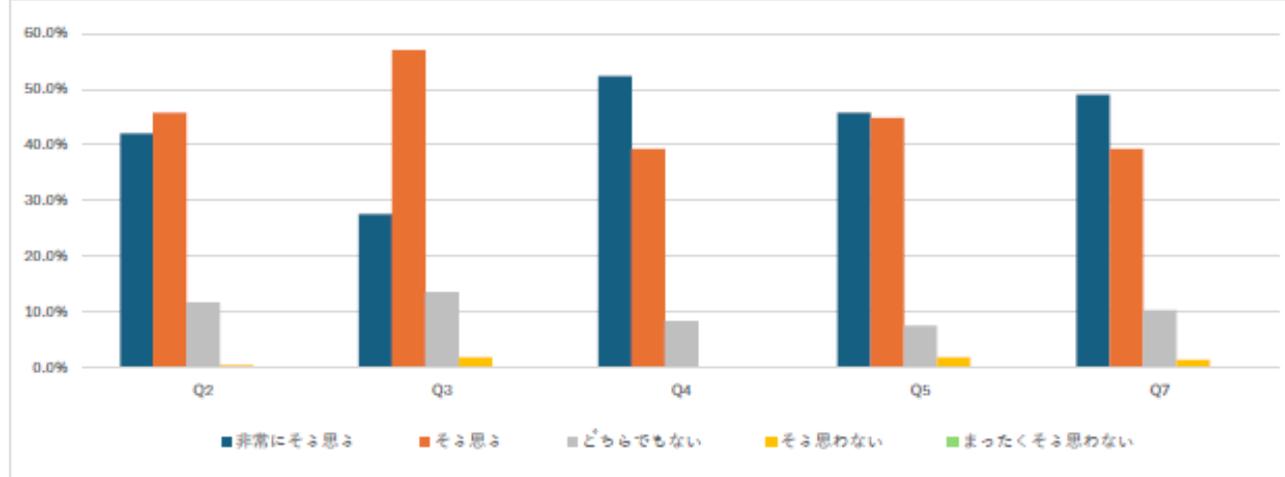
●国文学科 全体集計

受講人数	回収数	回収率
239	214	89.5%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	60	145	9	-	-	214
Q2	90	98	25	1	0	214
Q3	59	122	29	4	0	214
Q4	112	84	18	0	0	214
Q5	98	96	16	4	0	214
Q6	0	7	8	18	186	219
Q7	105	84	22	3	0	214
Q8	11	8	19	109	67	214

	1	2	3	4	5	計
Q1	28.0%	67.8%	4.2%	-	-	100.0%
Q2	42.1%	45.8%	11.7%	0.5%	0.0%	100.0%
Q3	27.6%	57.0%	13.6%	1.9%	0.0%	100.0%
Q4	52.3%	39.3%	8.4%	0.0%	0.0%	100.0%
Q5	45.8%	44.9%	7.5%	1.9%	0.0%	100.0%
Q6	0.0%	3.2%	3.7%	8.2%	84.9%	100.0%
Q7	49.1%	39.3%	10.3%	1.4%	0.0%	100.0%
Q8	5.1%	3.7%	8.9%	50.9%	31.3%	100.0%



4 - (3). 授業アンケート集計結果 (国文学科1年生)

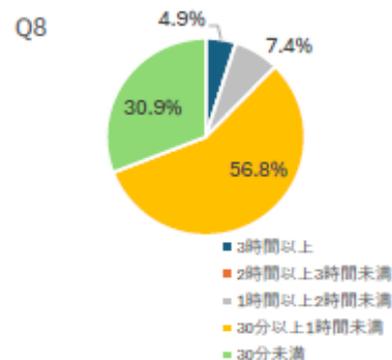
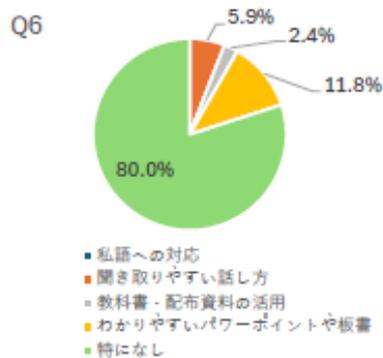
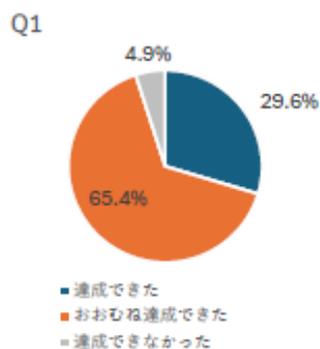
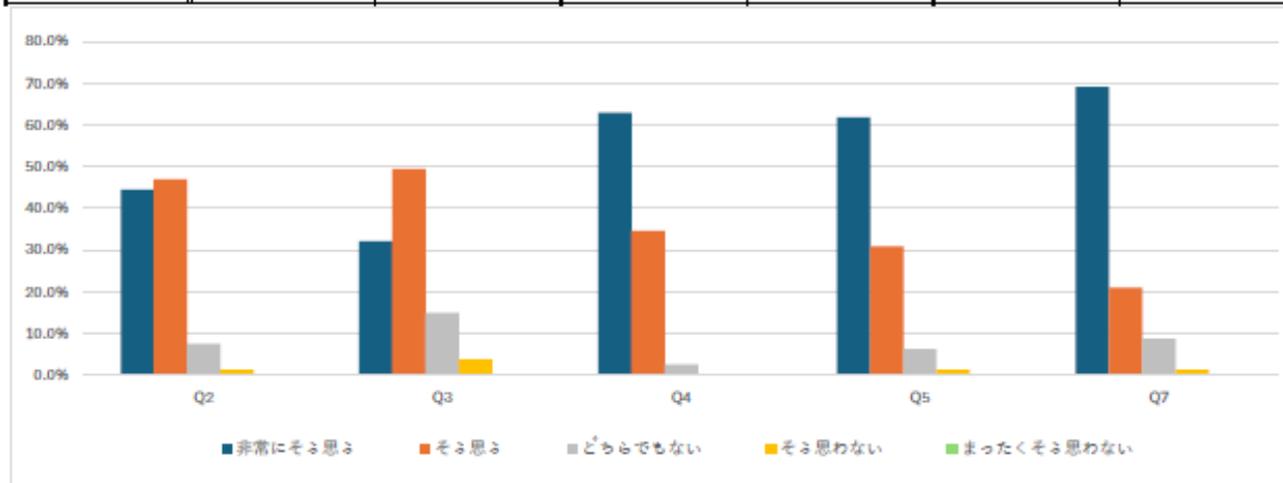
●国文学科1年次生集計

受講人数	回収数	回収率
98	81	82.7%

* 延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	24	53	4	-	-	81
Q2	36	38	6	1	0	81
Q3	26	40	12	3	0	81
Q4	51	28	2	0	0	81
Q5	50	25	5	1	0	81
Q6	0	5	2	10	68	85
Q7	56	17	7	1	0	81
Q8	4	0	6	46	25	81

	1	2	3	4	5	計
Q1	29.6%	65.4%	4.9%	-	-	100.0%
Q2	44.4%	46.9%	7.4%	1.2%	0.0%	100.0%
Q3	32.1%	49.4%	14.8%	3.7%	0.0%	100.0%
Q4	63.0%	34.6%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%
Q5	61.7%	30.9%	6.2%	1.2%	0.0%	100.0%
Q6	0.0%	5.9%	2.4%	11.8%	80.0%	100.0%
Q7	69.1%	21.0%	8.6%	1.2%	0.0%	100.0%
Q8	4.9%	0.0%	7.4%	56.8%	30.9%	100.0%



4 - (4). 授業アンケート集計結果 (国文学科2年生)

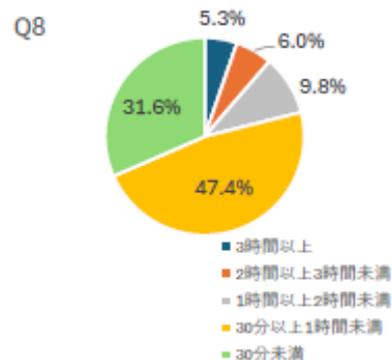
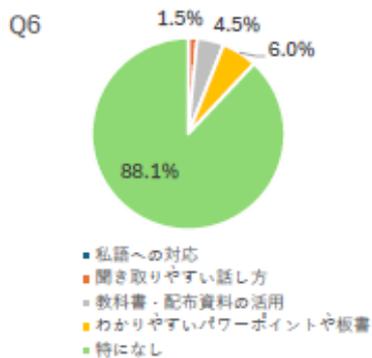
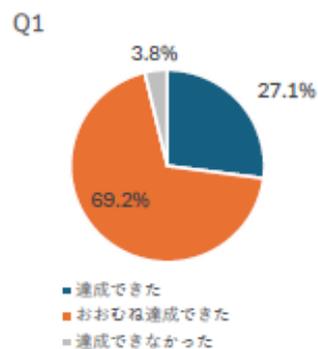
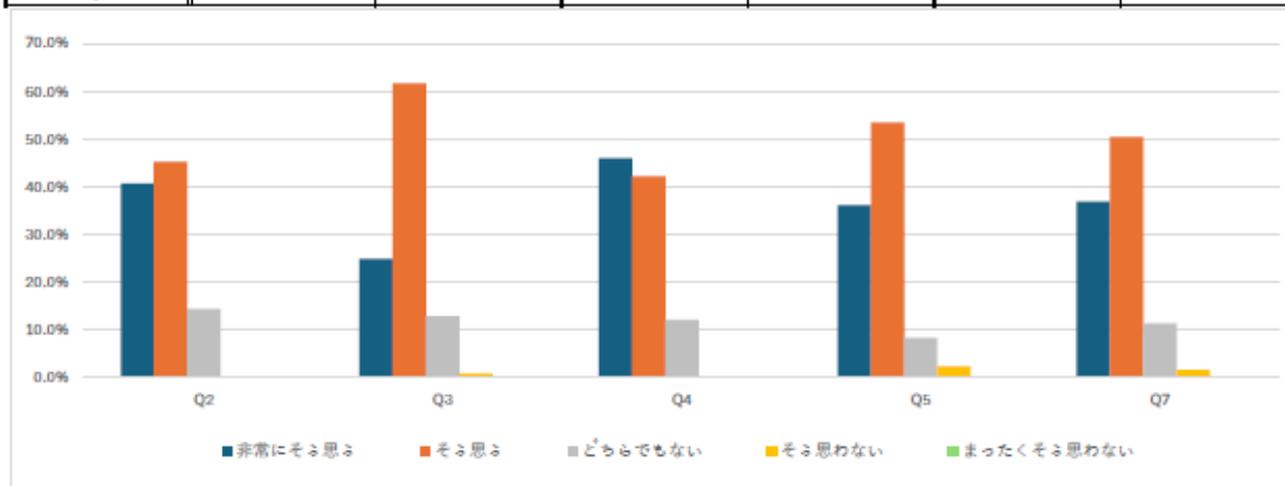
●国文学科2年次生集計

受講人数	回収数	回収率
141	133	94.3%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	36	92	5	-	-	133
Q2	54	60	19	0	0	133
Q3	33	82	17	1	0	133
Q4	61	56	16	0	0	133
Q5	48	71	11	3	0	133
Q6	0	2	6	8	118	134
Q7	49	67	15	2	0	133
Q8	7	8	13	63	42	133

	1	2	3	4	5	計
Q1	27.1%	69.2%	3.8%	-	-	100.0%
Q2	40.6%	45.1%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
Q3	24.8%	61.7%	12.8%	0.8%	0.0%	100.0%
Q4	45.9%	42.1%	12.0%	0.0%	0.0%	100.0%
Q5	36.1%	53.4%	8.3%	2.3%	0.0%	100.0%
Q6	0.0%	1.5%	4.5%	6.0%	88.1%	100.0%
Q7	36.8%	50.4%	11.3%	1.5%	0.0%	100.0%
Q8	5.3%	6.0%	9.8%	47.4%	31.6%	100.0%



4 - (5). 授業アンケート集計結果 (子ども学科全体)

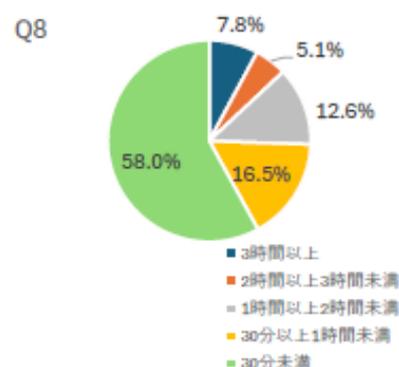
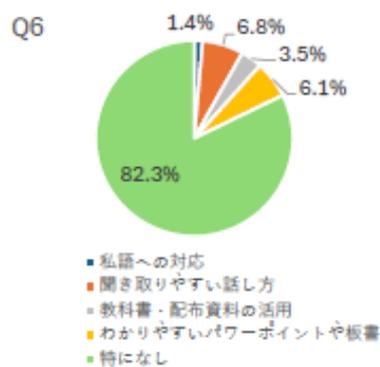
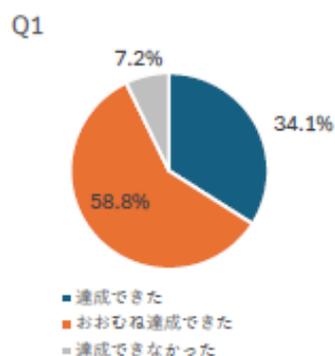
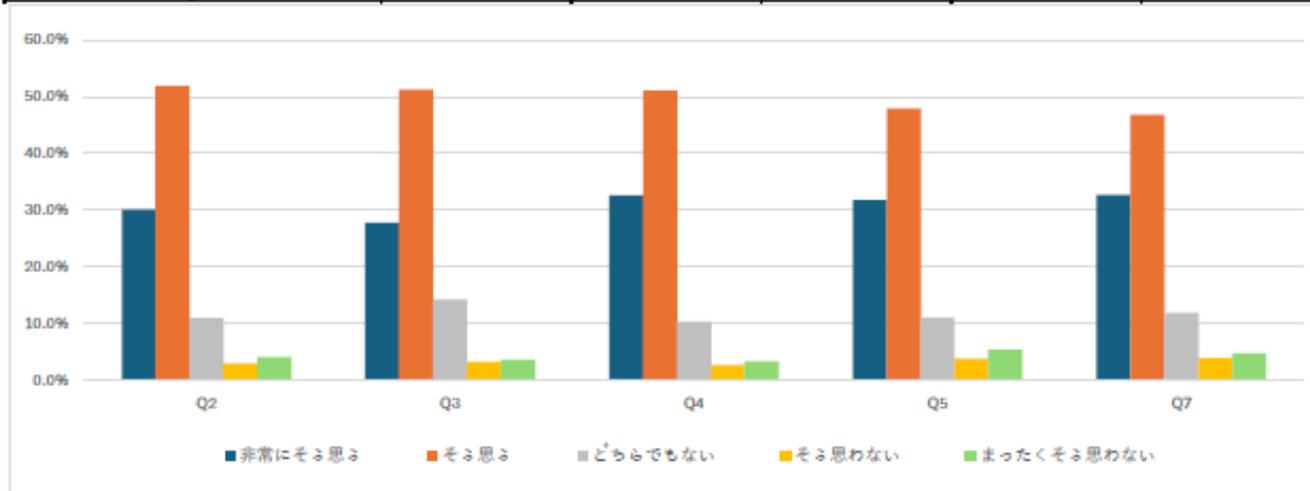
●子ども学科 全体集計

受講人数	回収数	回収率
787	740	94.0%

* 延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	252	435	53	-	-	740
Q2	223	384	81	22	30	740
Q3	205	379	105	24	27	740
Q4	241	378	76	20	25	740
Q5	235	355	82	28	40	740
Q6	11	54	28	49	658	800
Q7	242	346	88	29	35	740
Q8	58	38	93	122	429	740

	1	2	3	4	5	計
Q1	34.1%	58.8%	7.2%	-	-	100.0%
Q2	30.1%	51.9%	10.9%	3.0%	4.1%	100.0%
Q3	27.7%	51.2%	14.2%	3.2%	3.6%	100.0%
Q4	32.6%	51.1%	10.3%	2.7%	3.4%	100.0%
Q5	31.8%	48.0%	11.1%	3.8%	5.4%	100.0%
Q6	1.4%	6.8%	3.5%	6.1%	82.3%	100.0%
Q7	32.7%	46.8%	11.9%	3.9%	4.7%	100.0%
Q8	7.8%	5.1%	12.6%	16.5%	58.0%	100.0%



4 - (6). 授業アンケート集計結果 (子ども学科1年生)

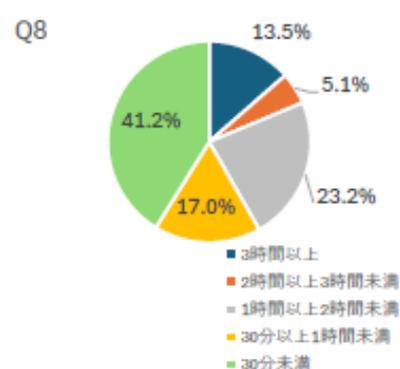
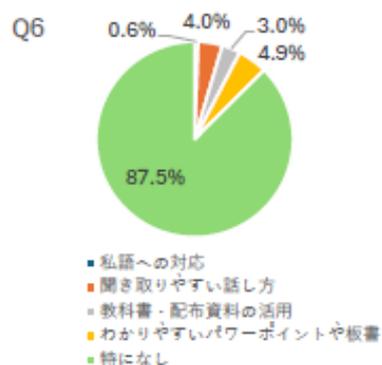
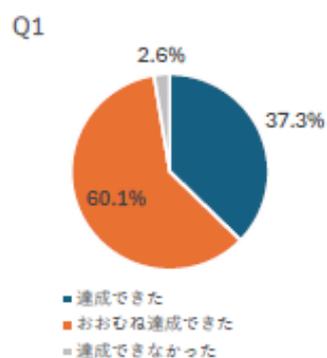
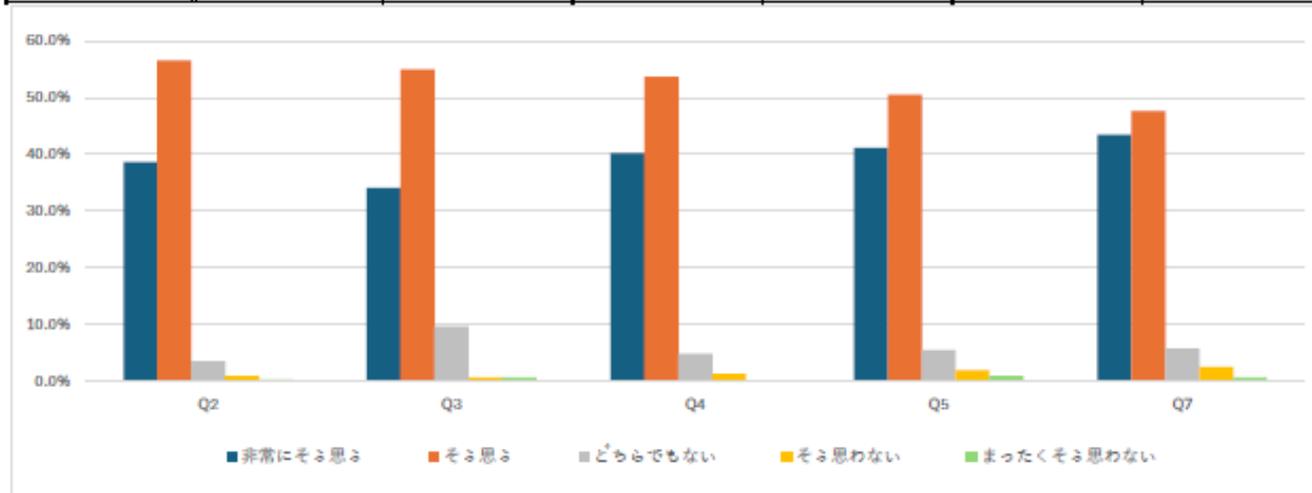
●子ども学科1年次生集計

受講人数	回収数	回収率
331	311	94.0%

* 延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	116	187	8	-	-	311
Q2	120	176	11	3	1	311
Q3	106	171	30	2	2	311
Q4	125	167	15	4	0	311
Q5	128	157	17	6	3	311
Q6	2	13	10	16	288	329
Q7	135	148	18	8	2	311
Q8	42	16	72	53	128	311

	1	2	3	4	5	計
Q1	37.3%	60.1%	2.6%	-	-	100.0%
Q2	38.6%	56.6%	3.5%	1.0%	0.3%	100.0%
Q3	34.1%	55.0%	9.6%	0.6%	0.6%	100.0%
Q4	40.2%	53.7%	4.8%	1.3%	0.0%	100.0%
Q5	41.2%	50.5%	5.5%	1.9%	1.0%	100.0%
Q6	0.6%	4.0%	3.0%	4.9%	87.5%	100.0%
Q7	43.4%	47.6%	5.8%	2.6%	0.6%	100.0%
Q8	13.5%	5.1%	23.2%	17.0%	41.2%	100.0%



4 - (7). 授業アンケート集計結果 (子ども学科2年生)

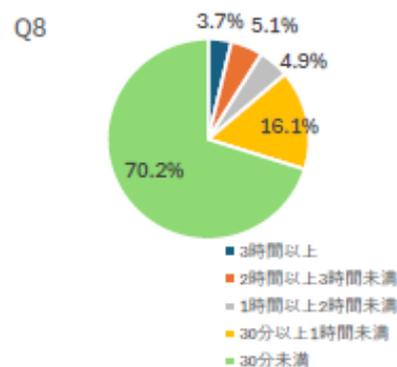
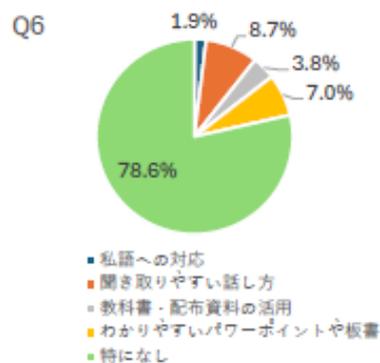
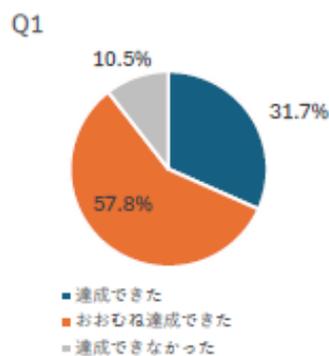
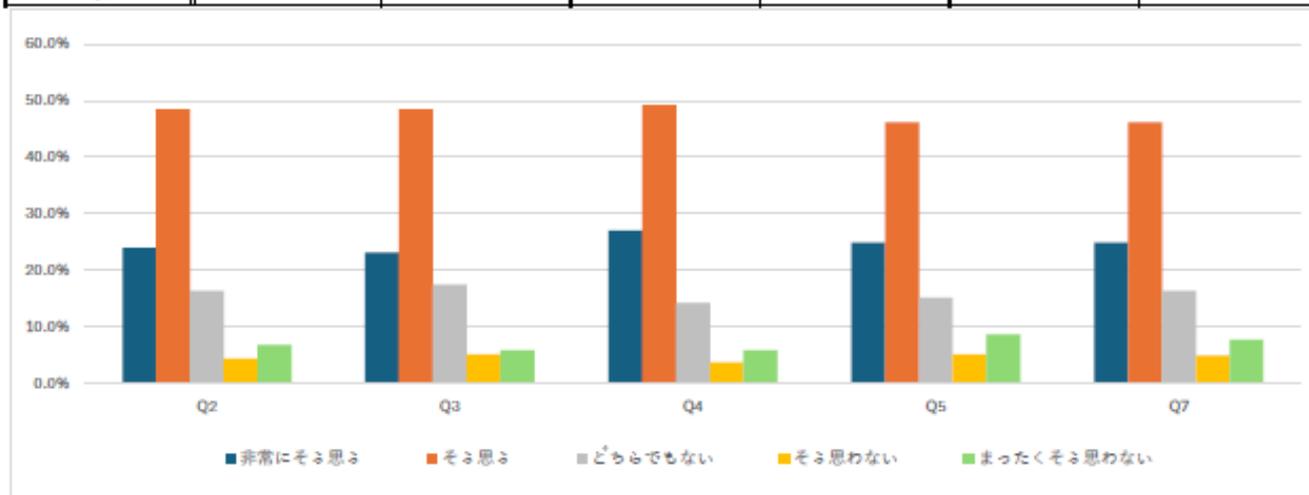
●子ども学科2年次生集計

受講人数	回収数	回収率
456	429	94.1%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	136	248	45	-	-	429
Q2	103	208	70	19	29	429
Q3	99	208	75	22	25	429
Q4	116	211	61	16	25	429
Q5	107	198	65	22	37	429
Q6	9	41	18	33	370	471
Q7	107	198	70	21	33	429
Q8	16	22	21	69	301	429

	1	2	3	4	5	計
Q1	31.7%	57.8%	10.5%	-	-	100.0%
Q2	24.0%	48.5%	16.3%	4.4%	6.8%	100.0%
Q3	23.1%	48.5%	17.5%	5.1%	5.8%	100.0%
Q4	27.0%	49.2%	14.2%	3.7%	5.8%	100.0%
Q5	24.9%	46.2%	15.2%	5.1%	8.6%	100.0%
Q6	1.9%	8.7%	3.8%	7.0%	78.6%	100.0%
Q7	24.9%	46.2%	16.3%	4.9%	7.7%	100.0%
Q8	3.7%	5.1%	4.9%	16.1%	70.2%	100.0%



5 - (1). 全学的考察 (授業アンケート結果について)

今期も昨年度の秋学期と同様、8項目の授業アンケートと自由記述を行った。ここでは、その中の5項目のアンケート結果を中心に考察する。

質問項目 (1) あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。

	達成できた	おおむね達成できた	合計
令和5年度秋学期	43.4%	54.1%	97.5%
令和6年度春学期	42.4%	55.6%	98.0%
令和6年度秋学期	39.2%	59.7%	98.9%
令和7年度春学期	37.1%	60.9%	98.0%
令和7年度秋学期	32.7%	60.8%	93.5%

「達成できた」と回答した学生は、昨年度同期の秋学期から 6.5 ポイント低下し、「おおむね達成できた」とあわせた合計も 5.4 ポイント低下した。直近2年間の値より約5ポイント低い値となっている。

質問項目 (2) 授業内容は興味・関心が持てましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和5年度秋学期	45.7%	47.7%	93.4%
令和6年度春学期	47.5%	44.7%	92.2%
令和6年度秋学期	45.1%	48.4%	93.5%
令和7年度春学期	41.2%	50.4%	91.6%
令和7年度秋学期	32.8%	50.5%	83.3%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度同期の秋学期から 12.3 ポイント低下しており、「そう思う」と合わせた合計も、昨年度同期の秋学期から 10.2 ポイントの低下がみられる。直近2年間 92~93%程度の学生が授業内容に興味・関心をもっていたことをふまえると、約10ポイントの低下がみられる。学生の興味・関心をより引き出す授業・演習の工夫が求められる。

質問項目 (3) 授業内容をよく理解できましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和5年度秋学期	37.4%	52.1%	89.5%
令和6年度春学期	37.6%	50.8%	88.4%
令和6年度秋学期	36.0%	54.8%	90.8%
令和7年度春学期	33.1%	55.8%	88.9%
令和7年度秋学期	27.7%	52.5%	80.2%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度同期の秋学期から 8.3 ポイント低下している。「そう思う」とあわせた合計も、10.6 ポイントの低下がみられる。直近2年間約9割の学生が「授業内容を理解できた」と回答していることと比較して、8~10ポイント程度の低下がみられる。学生のより深い理解につながる授業・演習の工夫が求められる。

質問項目（5）学生の理解を促す工夫がなされていましたか。（言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク）

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和5年度秋学期	44.6%	46.8%	91.4%
令和6年度春学期	46.5%	44.7%	91.2%
令和6年度秋学期	42.4%	46.9%	89.3%
令和7年度春学期	41.3%	47.7%	89.0%
令和7年度秋学期	34.9%	47.3%	82.2%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度同期の秋学期よりも7.5ポイント低下している。「そう思う」とあわせた合計でも7.1ポイント低下しており、学生の理解を促す工夫をもう一步進める必要がある。

質問項目（8）あなたは、この授業の予習・復習など自主学習に1週間あたりどのくらいかけましたか。

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（例 ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
令和5年度秋学期	7.2%	5.2%	17.1%	25.9%	44.7%
令和6年度春学期	4.7%	3.7%	14.2%	30.0%	47.5%
令和6年度秋学期	6.2%	4.9%	12.0%	23.7%	53.3%
令和7年度春学期	3.8%	4.2%	12.4%	28.9%	50.7%
令和7年度秋学期	7.2%	4.8%	11.7%	24.2%	52.0%

自主学修時間が「2時間以上」及び「3時間以上」の合計は、一昨年・昨年度同期とほぼ同様の約12%である。また、「1時間未満」「30分未満」の合計は昨年度同期の秋学期同様の値を示している。今後とも学生の自主的な予習・復習を導く工夫に努めると共に、自主学修の内容や仕方などさらに丁寧に指導していく必要がある。

5-（2）. 全学的考察（授業の質向上のために）

質問項目（1）（2）（3）（5）とも、直近2年間の値と比べて大きく低下している。また、自主学習時間（質問（8））についての結果も、例年の結果同様、更なる取り組みが必要である。

学科別・学年別のデータを見ると、特定の学科・学年の評価の値が一部大きく低下しており、今年度に特徴的な傾向と捉えることもできる。しかし、質問項目（1）「授業の到達目標がどのくらい達成できたか」における「達成できた」「おおむね達成できた」と自己評価する学生が5ポイント程度低下したこと、質問項目（3）「授業内容をよく理解できたか」における「非常にそう思う」「そう思う」と自己評価した学生が10ポイント程度低下したことから、捉え方によっては、学生が自己評価を厳しくし、自分の学修成果を冷静にとらえようとしているとみられる。一方、質問項目（2）「授業内容は興味関心が持てたか」、質問項目（5）「学生の理解を促す工夫がなされていたか」の項目の値が大きく低下していることをふまえると、今後さらなる講義・演習の課題・あり方の工夫、学生と教員が共に学ぶ意識の向上が必要であると思われる。

令和7年度においては、学生からのフィードバックを基に授業内容や方法を改善するためのFD研修として「授業改善に係る学生との懇談会（授業改善FD）」を開催するとともに、今年度の新たな取り組みとして、10月13日から10月31日までの期間を設定し、教員相互の授業参観を実施し授業改善・授業力の向上に努めた。

今後も教員のFD研修・SD研修等を計画的に実施し、学生が意欲的に学べる授業改善をめざして、大学全体として授業の質の向上を図っていきたい。

6－(1)．国文学科全体の考察（授業アンケート結果について）

質問項目（3）「授業内容をよく理解できましたか」について、「非常にそう思う」「そう思う」および両者の合計を過去4年間の同時期と比べると次のようになる。

【表1】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和3年度秋学期	18.9%	57.3%	76.2%
令和4年度秋学期	31.3%	52.9%	84.2%
令和5年度秋学期	29.6%	57.0%	86.6%
令和6年度秋学期	22.8%	66.4%	89.2%
令和7年度秋学期	27.6%	57.0%	84.6%

「非常にそう思う」「そう思う」の合計値をみていくと、令和3年度は70%台後半であったが、それ以降の4年間はおおむね80%台半ばを維持している。単純に今年度の数字を昨年度と比較すると、5%程低下しているということになるが、各年度の様々な差異を捨象して考えてみれば、授業内容を一定以上理解できている層が厚くなっていると評価することができる。昨年度の考察で指摘したように、昨年の数値は実態から離れて自己評価が高すぎたと考えられ、今回の数値は実態に近いと思われる。

同じ項目の学年ごとの違いは以下の通りである。

【表2】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	32.1%	49.4%	81.5%
2年生	24.8%	61.7%	86.5%

昨年度と同じデータは次の通りである。

【表3】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	18.0%	71.1%	89.1%
2年生	33.6%	55.8%	89.4%

上のふたつのデータ（【表2】【表3】）を比較すると、まず第一に現2年生は1年時に比べ、授業が理解できていると考えている層の内でも理解が深まっている、と自己評価している者が増えていることである。学習の難度も上がっていく中で理解度も増しているということであり、教員側の不断の創意工夫とともに、学生の学習への努力があると考えられる。また1年生については、母数があまりに小さいためデータのみから様々なことを読み取り断言するのは少し危険性があるが、授業理解について「非常にそう思う」が32.1%というのは高すぎるように思われる。実態と乖離した自己評価・自己認識があるように思われるのである。

質問項目（8）の学習時間について、学年ごとの集計は以下の通りである。

【表4】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
1年生	4.9%	0.0%	7.4%	56.8%	30.9%
2年生	5.3%	6.0%	9.8%	47.4%	31.6%

数年来の傾向として、学年や学習が進むにつれて、授業外での学習時間も増加している。2年生は秋学期も就職活動を行っていた者が相当数いる中で一定の時間学習を行っていたと見られる。1年生については、春学期と比較すると、春学期には0%であった3時間以上の学習時間という回答が4.9%と伸びているが、2時間以上3時間未満の層は2.1%から0%になっている。また1時間以上2時間未満の層は半減、30分以上1時間未満の層も減少し、30分未満が10%増加している。春学期に比べ学習時間が減少しており、しかも授業は理解できていると考えている者は多いが、成績評価をみると実態とは乖離している。次年度この傾向が続くようであれば、学習成果の獲得が不十分となるおそれがある。様子を見守りつつ、一定の学習時間が必要となるような授業の実施、学習習慣の定着化を念頭に置いた学習指導を行うよう、学科として共有したい。

6 - (2). 国文学科全体の考察 (授業の質向上のために)

授業アンケートについての考察においてこの数年間、一貫して述べてきたは、過去に較べて一定の学習時間が確保されていること、学習習慣が多くの子に在る程度身についてきていること、学修が進むにつれておおむね学習時間も増加していること、などであった。すなわちそれは、カリキュラム改革や授業改善が進んだことを意味し、同時に学生の学習態度も改善され成果を挙げているということもある。

送り手と受け手の改善の結果、一定の成果を挙げたわけであるが、同時にそれ以上の前進は容易ではないことも意味する。これも以前に指摘したことであるが、たとえば授業外の学習時間が一定行われている現状で、今以上の学習時間の増加を学生に求めることは困難である。

そうした状況を受け、量的増加ではなく質的転換を図る必要があることも指摘してきた。どのように質的転換を図るかは、単純な量的増加よりもはるかに難しい。そうした中で、たとえばゼミ等での主体的学びの取り組みもかなり進んできており、学生もそうした学習に手応えを感じているようである。引き続き学生の主体的学びを支援する取り組みを続けることが、学生の学修の質向上に資すると考えている。

また今年度の学生懇談会において、学生に対し、ある程度の負荷を与えられた方がやりがいを感じるか、また達成感があるかと問うたところ、多くの学生がそう思うと回答していた。学生は必ずしも楽をしたいと考えているのではなく、自分が達成感を覚え成長実感を得られるのであれば適切な負荷を厭わない場合が多いようである。成長実感を伴う適切な負荷を、授業内外でどのように提供するのかを、残り一年学科として考えていきたい。

7 - (1). 子ども学科全体の考察 (授業アンケート結果について)

①授業アンケート結果について

質問項目 2、質問項目 3、質問項目 5 について、3 年間の秋学期の回答を比較してみると、次のような結果であった。

○質問項目 2 : 授業内容に興味・関心が持てたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 5 年度秋学期	45.1%	47.5%	92.6%
令和 6 年度秋学期	43.8%	49.3%	93.1%
令和 7 年度秋学期	30.1%	51.9%	82.0%

○質問項目 3 : 授業内容をよく理解できたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 5 年度秋学期	41.2%	49.7%	90.9%
令和 6 年度秋学期	41.8%	49.6%	91.4%
令和 7 年度秋学期	27.7%	51.2%	78.9%

○質問項目 5 : 学生の理解を促す工夫がなされていたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 5 年度秋学期	45.5%	44.1%	89.6%
令和 6 年度秋学期	44.2%	44.5%	88.7%
令和 7 年度秋学期	31.8%	48.0%	79.8%

今学期は、昨年度同期と比較して「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生が、質問項目 2 で 11.1 ポイント、質問項目 3 で 12.5 ポイント、質問項目 5 で 8.9 ポイント減少した。特に、いずれの項目でも「非常にそう思う」と回答した学生が、昨年度同期より 12~14 ポイント減少している。

今学期の 1 年生と 2 年生の結果を比較したものが次の表である。

○質問項目 2 : 授業内容に興味・関心が持てたか

令和 7 年度秋学期	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生	38.6%	56.6%	95.2%
2 年生	24.0%	48.5%	72.5%

○質問項目 3 : 授業内容をよく理解できたか

令和 7 年度秋学期	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生	34.1%	55.0%	89.1%
2 年生	23.1%	48.5%	71.6%

○質問項目 5 : 学生の理解を促す工夫がなされていたか

令和 7 年度秋学期	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生	41.2%	50.5%	91.7%
2 年生	24.9%	46.2%	71.1%

今学期の 1 年生の結果を見ると、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生は、昨年度同期の子ども学科の結果と比較して、大きく数値を落としているわけではない。1 年生の 9 割を超える学生が、授業内容に興味・関心を持って意欲的に学び、授業内容の理解も深まったととらえている。一方、2 年生で「非常にそう思う」と回答した学生は、どの項目も 20 ポイント近く減少しており、今学期の子ども学科の結果に大きく影響した。

②学生の学修時間について

次に、「当該授業に関する授業外学修時間(週)」について、3 年間の秋学期の回答を比較してみると、次のような結果であった。

○質問項目 8 : 当該授業に関する授業外学修時間(週)

	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和 5 年度秋学期	7.8%	4.8%	15.0%	24.2%	48.2%
令和 6 年度秋学期	6.6%	3.5%	10.4%	20.6%	58.9%
令和 7 年度秋学期	7.8%	5.1%	12.6%	16.5%	58.0%

1 週間あたりの自主学修の時間は、ここ 3 年間大きな変化は見られない。「30 分未満」と回答した学生は、昨年度同期より 0.9 ポイント減少したものの、5 割を超えている。

学年別に春学期と秋学期の「当該授業に関する授業外学修時間(週)」を比較すると、次のような結果となった。

子ども学科 1 年生	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和 7 年度春学期	4.1%	4.3%	15.1%	29.1%	47.5%
令和 7 年度秋学期	13.5%	5.1%	23.2%	17.0%	41.2%

子ども学科 2 年生	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和 7 年度春学期	5.5%	3.3%	8.4%	15.9%	67.0%
令和 7 年度秋学期	3.7%	5.1%	4.9%	16.1%	70.2%

今学期、「3 時間以上」と回答した 1 年生は、春学期より 9.4 ポイント増加した。「2 時間以上 3 時間未満」「1 時間以上 2 時間未満」と回答した学生も増加し、半数近い 1 年生は授業外学修時間の定着が進んだ。2 年生は、「3 時間以上」「2 時間以上 3 時間未満」「1 時間以上 2 時間未満」と回答した学生が減少し、1 時間未満と回答した学生が 8 割以上となった。今回の結果を重く受け止め、授業外学修時間の指導を充実していく必要がある。学生への課題の出し方を工夫するとともに、学生に求められる学びの姿勢として指導を継続していきたい。

⑦前年度または前学期の授業アンケート考察時から改善されたことについて

1年生の結果からは、授業の質的向上に向けた取組みの成果は継続されていると考える。授業外学習時間が定着し、前述した通り、9割前後の学生が、授業内容への興味・関心、授業内容の理解において、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した。授業で出された課題に対して学びをふり返り、自分で調べたり考えたりすることで、授業内容の定着を図ることができる。自主的な学びの姿勢を引き続き育てたい。

7-(2). 子ども学科全体の考察 (授業の質向上のために)

PROG や教学 IR の学修成果の査定結果をもとに、学生に力をつけていくための授業のあり方を考えていくことが重要ととらえている。教育課程レベルの学修成果の査定結果では、昨年度の課題であった、「課題発見力及び課題解決力」が改善し、「在学中の学習成果の獲得にとどまらず、獲得した成果を就職後にもしっかりと発揮できている」ことが明らかとなった。また、学生懇談会や学生アンケートによるヒアリング結果からは、「グループ活動では、話す機会があり、話すと伝える能力が高められてよい」という声もある。本年度は、FD研修の一環として、「教員相互の授業参観」が実施された。学科としても、引き続き「授業の質の向上」の取組みを進め、グループワークや体験授業等アクティブラーニングを取り入れた授業実践を、様々な授業形態において進めていきたい。今学期、2年生の学生に学習意欲等の低下が見られた。多くの学生の就職が内定する2年生秋学期の授業では、学び続ける教員・保育士の育成に向けて、学生の学ぶ意欲、資格免許を取得し教育・保育職として社会に貢献するするという強い意志を育て、主体的な学習態度や困難・不安を乗り越える力の育成にも取り組んでいきたい。

8. 授業アンケート回答率の推移

本学では、令和元(2019)年度より電子媒体である学生ポータルサイト (Campus Plan portal) を利用して授業アンケートを実施している。

本学では授業アンケートは無記名式の回答である。

今学期と過去3年間について、回答率の推移を学科・学年別に比較する。

	国文学科		子ども学科		全学	
	回答率	回答/受講	回答率	回答/受講	回答率	回答/受講
令和4年度春学期	88.6%	504/569	81.7%	1221/1494	83.6%	1725/2063
令和4年度秋学期	92.1%	395/429	76.0%	1040/1368	79.9%	1435/1797
令和5年度春学期	98.9%	447/452	84.6%	884/1045	88.9%	1331/1497
令和5年度秋学期	88.8%	358/403	79.0%	728/921	82.0%	1086/1324
令和6年度春学期	94.5%	433/458	95.9%	962/1003	95.5%	1395/1461
令和6年度秋学期	89.6%	369/412	97.4%	834/856	94.9%	1203/1268
令和7年度春学期	88.7%	258/291	94.4%	945/1001	93.1%	1203/1292
令和7年度秋学期	89.5%	214/239	94.0%	740/787	93.0%	954/1026
平均・合計	91.5%	2978/3253	86.8%	7354/8475	88.1%	10332/11728

一般的に大学で学生にアンケートを実施する際は、紙媒体の方が電子媒体よりも回収率が高いといわれている。本学は今年度で電子媒体での授業アンケートの実施は7年目に入り、在学生は全員が入学時より電子媒体で授業アンケートに回答している。

学生がポータルサイトや機器の使用方法にも慣れてきていて、両学科とも近年では高い回答率である。

これからも学生が安心して回答できるよう、授業アンケートは無記名式かつ電子媒体での実施を継続する予定である。次年度以降も引き続き、まず学生の声を聴き授業改善について検討する材料を十分集められるよう、授業内での確実な授業アンケートの実施に努めていく。

以上